

平成 30 年 11 月 27 日
気 象 庁 観 測 部

「降雪の深さ」の品質管理の改善について

積雪計を設置している観測所では、積雪の深さを自動で毎時観測しています。このとき、ある時刻の降雪の深さの観測値は、その時刻の積雪の深さの観測値と、1 時間前の積雪の深さの観測値との差（1 時間積雪差）としています。

一方で、積雪の深さの観測値は、雪面の状態や気象条件、積雪計の性能により測定結果に数 cm の変動が生じることがあります。このため、雪が降っていないなくても、積雪の深さが増えて降雪の深さが 1cm 以上になる場合があります。

気温や湿度などから明らかに雪が降っていない気象状況と判断できる場合は、後日職員が積雪の深さを修正し、降雪の深さが 0cm となるよう修正を行ってきましたが、平成 30 年 11 月 27 日からは降雪の深さの観測値を即時的に自動で 0cm にするよう品質管理処理を改善しました。

この改善により、雪が降っていない状況では、1 時間積雪差と降雪の深さの観測値が一致しない場合もありますので、データの利用時にご留意ください。